

令和4年度 会派議員派遣報告書

会 派 名	三原市議会公明党会派
議 員 名	萩 由美子
議員派遣先名	一般財団法人 塩尻市振興公社（長野県塩尻市）

派遣費用

科 目	支出額	摘 要
調査費	29,780 円	旅費（鉄道賃及び日当）
合 計	29,780 円	

1 三原市での課題と派遣の目的（本市の現状と課題を明確に）

<p>出産・子育てのため離職したが再就職を望む若い女性がたくさん居られる。本市では、そのような方への就職ガイダンスや企業への働きかけを行っているが柔軟な働き方を認めることのできる事業所は限られている。</p> <p>塩尻市の自営型テレワーク推進事業 KADO はデジタル人材を育成し、仕事に結びつける事により年間2億5千万円の売り上げを達成し、近隣他市町へもこの事業を広げていることから、どのように行っていて、何が問題になるか等を研究する。</p>
--

2 実施概要（1カ所目）

実 施 日 時	派 遣 先	一般財団法人 塩尻市振興公社
令和4年 7月 29日 13:30 ~ 14:45	担 当 部 局	KADO マネージャー
報 告 内 容 ・ 所 感	<p>一般財団法人塩尻市振興公社は、何らかの理由により就労に時間的制約のある人などに対して「好きな時間に好きなだけ安心して働ける場」を提供するために自営型テレワーク推進事業「KADO」を実施している。</p> <p>クラウドソーシング、テレワーク、コワーキングを組み合わせた官民連携によるオリジナルの地域就労支援モデルを構築している。</p> <p>① 発足の経緯②事業のスキーム③登録者へ提供する仕事の種類④登録者への IT スキル等の研修⑤運営における成果、課題、社会情勢による変化など⑥他市や民間事業者との連携等の聞き取りを行った。</p> <p>KADO は 2010 年に「ひとり親家庭等の在宅就労支援事業」として各省庁の補助金や国の支援を受けながら始まり、対象を子育て中の女性や障がい者、介護者等に拡大してきた。多方面とのネットワークや様々な国の施策を積極的に導入している。受注業務はアノテーション、地図データ作成、バックオフィス、自治体業務等多岐にわたる。地図データ作成が縁でバス自動運行の実</p>	

	<p>証実験を行っている。自治体業務は塩尻市のIT業務を受託するほかGIGAスクールの支援も行っている。</p>
<p>報告内容・所感</p>	<p>クライアントの要望に応じられるワーカーのチームを作るためにディレクターの仕事が大切で、登録しているワーカー650人、実働350人に対しディレクター10人、マネージャー3人態勢で運営している。</p> <p>ワーカーは個人事業主で準委託契約、ディレクター等は職員、プロジェクトマネージャー3人は塩尻市職員で、シビックイノベーション拠点事業「スナバ」も兼務している。</p> <p>1人1台のパソコンなども含め年間予算4000万で、半分は国の補助金で運営している。</p> <p>皆さん、非常に熱心に取り組んでおられたのが印象的で、説明者からも職員の熱量が一番大切とのことだった。</p> <p>塩尻市が主導して近隣他市町へもこの事業を拡大していて、そこから様々な事業や移住が派生している。</p>
<p>市政に活かせること（まとめ）</p>	<p>全国的にも子育て中の女性が就労するには時間的制約等様々な困難がある。また、男女共同参画の観点からもデジタル分野における女性の割合の低さも問題である。そのような観点から、国の男女共同参画会議において、令和4年4月26日に「女性デジタル人材育成プラン」が閣議決定された。</p> <p>そのような背景の中で、今回は一般質問で提言してきた施策なので視察を行った。</p> <p>塩尻市では1人1台使える、仕事ごとに独立したチームで利用できるようなワーキングスペースを持っている。ITを使った仕事でもお互いに顔を合わせて検討し、モチベーションを確保しながら仕事ができるワーキングスペースは必要である。</p> <p>また、関わる人たちの「やる気」が大切であり、常に「誰のために」を議論しながら仕事をしているとの事で、モチベーションの持続とチームワークを築いていけるディレクターの資質が鍵になる。委託で予算だけつけて丸投げではなく、市の担当者(やりたい人)が関与し続けることや市の計画に盛り込むこと等が必要ではないか。</p> <p>KADOでも初心者のスキルアップが課題との事である。適切な事業者とタイアップしながら本市の人材も大いに活用できるのではと期待する。</p>

※ 施設先の写真・資料等を必ず添付すること。